

暴力には屈しない

県遊技業組合
追放研修会

山形
県遊技業協同
組合・県遊技業

暴力追放対策協議会の山形支部（金村鍾文支部長）による暴力追放研修会が2日、山形市のパレスグランデールで開かれた。組合員

ら25人が暴力団からの不当な要求への対応策を学んだ。

県警組織犯罪対策課の工藤茂課長補佐が「最近の暴力団情勢について」と題し講話をした。構成員は減少しているが、組織に属さず犯罪を行う半グレを利用し、依然として大きな脅威になっていると説明した。

反社会勢力が不当な要求をしてきた場合、「警察や県

暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部機関と早期に連携し対処してほしい」とアドバイスした。

（高橋直大）

暴力団への対応を学んだ研修会
山形市・パレスグランデール



不当要求、どう対処

県遊技業協同組合
置賜支部など研修会

米沢

県遊技業協同
組合置賜支部

（金載盛支部長）と県遊技業暴力追放対策協議会（井上静夫会長）による研修会が4日、米沢市のホテルモントビュウ米沢で開かれた。置賜地区のパチンコ・パチスロ店主ら12人が参加し、暴力団からの不当要求への対応法などを学んだ。米沢警察署の西田一平刑事二課長が「暴力団情勢と不当要求の対策について」

の題で講話。暴力団員は全

国、県内ともに減少傾向にあるものの、米沢市には指定暴力団の拠点があり、取り締まりに力を入れていることなどを説明した。

西田課長は「暴力団は社

会情勢に合わせ、多種多様な資金獲得活動をしている」と強調。不当な要求には「個人ではなく、組織一丸で対応することが重要」と説明した。実際に対応する場合の注意点として▽相手の指定する場所には出向かないこと▽動画や音声を記録することなどを挙げた。

（阿久津誠）



暴力団の不当要求への対応方法などを学んだ研修会
山形市・ホテルモントビュウ米沢